



# サロンのあべの

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)

## 〈サロン・あべの〉3月の出会い

平成22年3月20日(土)〈サロン・あべの〉3月の出会いは、育徳コミュニティセンター2階研修室で、「海ゴミからのメッセージ」できることからはじめよう!地球に優しい暮らしに変えていこう!というテーマで、「ビーチクリーン土佐」の梅田アキさんに、スタッフの藤原さんと竹内さんと共に身近にできる実演を交えながら、お話を伺いました。

### 1 活動のきっかけ

梅田さんは高知県の出身で大阪に住んでいる。春夏秋冬の休みには、土佐に帰って海に潜ってスキューバをしたり、川で素もぐりをしたり自然に触れ合うことを楽しんでいた。

自然と関わる仕事をしてきたが、20年くらい前から魚が減ってきた。和歌山や高知でももぐ

つていた。5年ほど前から貝塚の二色の浜にも行ったが、浜には注射器が、海の中には散弾銃のケースやロケット花火の先の

## 海ゴミからのメッセージ

た。このような状況では、子どもが安心して海で遊べないと思つた。安心して遊べる海を取り戻したい、自分は海で十分に楽しませてもらったから、これからは自分ができることを、と考

えた。そこでゴミを拾う活動に参加するようになった。活動してい

く中で、自分と同じ思いを持つ人に出会い、活動が楽しくなってきた。ただゴミを拾うだけで

は元を正していない。そこで、世界で同時にゴミ拾いをしてゴミの記録をとるデータ調査を行う活動に参加するようになった。ゴミ拾いをしていると、周りの人が何をしているのかと集まってきた手伝ってくれた。海では

いろんな物を魚が食べ、その魚を人間が食べる。結局、海の中のゴミが回りまわって人間に影響を及ぼすことに気づかされた。

お話と同時に海で撮った写真や海で拾ったゴミを参加者に回覧して見せていただいた。海ごみは漂流していて、排出元から想像できないほど遠くの海外まで流れている。また、鳥の内臓から消化できないプラスチックなどゴミが出てきている。大阪湾で撮った写真の中には、アオ

リイカの子どもやタツノオトシゴなどもあり、大阪湾も捨てたもんじやないと感じた。

磨作用がある。

これを使った「重曹使用実験」を参加者自身が体験しました。

## 2 自分たちが

### 身近にできること

#### \* 重曹の使い方 \*

自分たちが身近にできること

#### ・重曹クレンザー

として、まずは家庭からでる生活排水から見直してみることにした。家庭で使う洗剤やシャンブーなどには合成界面活性剤が入っている。排水が川から海に流れて行く。排水には綺麗にする原料が入っているから、海に住む微生物まで殺してしまう。

重曹と粉石鹸を7：3の割合で混ぜ、水を少しずつ加えながらクレンザーくらいのクリーム状に練って出来上がり。弁当の容器にオリーブオイルを塗って、それを和紡フキンにクレンザーをつけて汚れをこする。軽く洗えばオリーブオイルが落ちている。

#### ・消臭・乾燥剤

ある物質でできていて、鉱石や海水にもあるそうで、自然に帰るので使用しても排水などへの負担も少ない。乾燥・消臭(お酢やお湯を加えると発泡)・研

通気性のよいコーヒーのフイルターに重曹と香り付けにローズマリー(ラベンダーも可)を入れて、口を2回ほど

折りたたみ、セロテープなどで封をすれば出来上がり。折られたら、セロテープなどで封をすれば出来上がり。

参加者は洗浄の体験をしたり、ローズマリーの香りのする消臭剤袋を作って持ち帰りました。

参加者に感

想や意見を聞きました。

「重曹の効能は聞いていたが、今回の話で使ってみようと思った。」

「重曹のいろんな使い方を知った。」

「ピーチクリン土佐」のブログを見て参加された方もおられました

海が好きで、自分だけでなく友人と一緒に続けておられる自

然体の活動に感心した(サロン・あべの)3月の出会いでした。

参加者22名(山村 貴司)





5月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」5月の出会い

日 時：5月16日（日）午後1時30分～4時  
内 容：「シネマ歌舞伎鑑賞会」  
～野田版 研辰の討たれ、歌舞伎の舞台公演をスクリーンで、美・豪華・感動・をお楽しみください～  
場 所：淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3  
会 費：なし  
問合せ先：淀川区社協（ボランティア・ビューロー）  
☎06-6394-2900

■「サロンにしよど」5月の出会い

日 時：5月22日（土）13時30分～16時  
内 容：未定  
ゲ ス ト：未定  
場 所：西淀川サービスセンター「ふくふく」  
（大阪市西淀川区千舟2-7-7）  
問合せ先：中本 ☎090-9864-9678

■「サロンにし」5月の出会い

日 時：5月8日（土）午後2時～4時  
内 容：「フルーツの音楽鑑賞を楽しもう！！」  
ゲ ス ト：なし  
場 所：西区在宅サービスセンター「にしながほり」  
大阪市西区新町4-5-14  
☎06-6539-8075  
会 費：なし  
問合せ先：宮脇淳  
☎090-3949-6973

■「ウイズ東淀川」5月の出会い

日 時：5月9日（日）午後1時30分～4時  
内 容：未定  
場 所：NPO法人自由空間クラブ  
大阪市東淀川区淡路5丁目  
会 費：なし  
連絡先：鈴木昭二 ☎06-6340-3082

■「サロンいたみ」5月の出会いはお休みです。

お 知 ら せ

<サロン・あべの> 5月の出会い

内 容：「バラと彫刻展」  
～さわやかな五月の風にふかれながら、バラの香りを楽しみませんか～

日 時：5月15日（土）  
午後1時～4時  
（植物園正面入口に集合）

場 所：大阪市立長居植物園  
[大阪市東住吉区长居公園  
1-23 TEL 06-6696-7117]

会 費：なし  
障害手帳をお持ちの方は  
ご持参ください。  
健常者入場料 = 200円

申込みと問合せ先：  
TEL 06-6691-1028（富田慶子）

## — お詫びとお願ひ —

この度、「サロン・あべの」紙の編集者が急病のため入院しました。その為に従来発行していました「サロン・あべの」紙が発行出来なくなりましたので、お詫び申し上げます。毎月、原稿をサロン紙にご寄稿いただいている皆さま方には、誠に申し訳ないことです。編集者のパソコンを開くことが難しく、他委員の力ではどうしようもないことが判明して、急遽こういう形になりました。

毎月原稿をお送りいただいている（知）様、稲垣恵雄様、岸田美智子様、定藤邦子様、中村かずみ様、また、3月のサロンでお話いただきました梅田アキ様方々にお詫び申し上げます。あわせて、毎月のサロン紙の紙面記事を楽しみに、ご愛読くださっている皆さま方にもお詫び申し上げます。今は編集者の一日も早い快復を祈るばかりです。

また、今後は委員もそれなりに編集への関わり方を模索してゆきたいと考えていますので、どうぞ今号のことはお許しいただきますようお願い申し上げますと共に、今後の（サロン・あべの）をよろしくお願ひ申し上げます。

〈サロン・あべの〉運営委員会・一同

**ありがとうございます**

カンパ・切手・お茶菓子等のご寄贈、サロングッズの  
お買い上げのご協力ありがとうございました。

カスターネット、親切会関西支部、千葉政子、東野香津子、  
吉原和郎、その他の方々（敬称略）

## お知らせ

■サロンあべの286号の編集者が急に変更になりました。285号までのすごく長い間、手書きから手貼り、ワープロと変遷してきて、世間並みにパソコンに切り替わって、なんとかの手習いでやっとここまでやってきました。

■その間、脳性マヒによる二次障害の弊害も出てはきたのですが、なんとかそれを追い払いながら追いつかれそうになりましたが、なんとか逃げ切って半年前までだましましやってきましたが、とうとう追いつかれ追い抜かれそうになりまして、なんとかカバーしようとジョイスティックに換えはしたのですが勝てませんでした。それでもなおかつやろうと奮い立たせて、アルバイトの学生さんの助けを借りて、口頭で編集できるようにスケジュールを組み立てた矢先に万やむをえず頓挫しました。286号以降の編集担当の人はしばらく方向が定まらず、右往左往されることと思いますが、やがて大きな指針のもと、前進されるに違いないことと思います。

■どうかみなさんのご協力ご支援をよろしくお願ひします。（石）

<サロン・あべの>VOL.286 発行：平成22年（2010）4月17日 定価¥100

編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題・中西利香・筆

事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>

TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941

印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F、TEL06-6719-8212

ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/ 「サロン あべの」でも検索できます